

## 事業報告書 (平成 30 年度)

### 事業名

ESD セミナー「まちなみ再生プロジェクトに学ぶ」地域の文化を育てる！持続可能なまちづくり

団体名 一般社団法人 岡山県建築士会 担当者名 原口 矛

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

- ・日時：平成30年 9月22日(土)
- ・場所：岡山県立図書館
- ・対象：県内まちづくり関係者、ヘリテージマネージャーや古民家の所有者、学生等
- ・人数：一般69名、学生1名
- ・内容：「講演会の実施」



宮崎県日南市飫肥地区まちなみ再生コーディネーター徳永煌季（とくなが こうき）氏を招き宮崎県日南市の行っている飫肥地区まちなみ再生事業の一つ、重伝建地区内にある宿泊施設「季楽 飫肥（きらく おび）」の再生事例をもとに、事業の進め方についてお話し頂いた。

過疎化や空き家問題が岡山県内にもたくさんあるが、地域の文化や生活をまもるために、まちなみ再生プロジェクトを事例に文化の活性化事例を学ぶ。そのため、町並みの再生を建築士など専門家だけでなく、文化団体等、まちづくり関係者、大学生等様々な人が学べる講演会を開催した。

講演内容は、単に町並みやプロジェクトの成果の紹介だけでなく、いかにしてプロジェクトをまわすか、文化財などは税金等の活用も多い中、税金に頼らない、事業運営や資金調達記入機関の連携などについて説明を頂いた。



講演会全体



撮影可能者との集合写真

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に眠っている歴史的建造物の保存・活用そして維持管理や修繕費用の資金調達</li><li>・地域に残っている歴史的建造物を再認識し、保存・活用を考え持続していく</li><li>・歴史的建造物から昔の生活風習・文化を学ぶきっかけとしたい</li></ul>
3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）
参加者の感想 <ul style="list-style-type: none"><li>・インターネットを活用し、観光や集客、資金集めをすることが大事だと感じた。</li><li>・補助金と民間資金の割合も大事。民間資金を入れることでリスクを取る覚悟で事業に挑むことができるが、古民家再生は費用がかかり、民間資金だけだと採算が合わないため補助金も組み合わせることなどバランスが重要だと思った。</li><li>・失敗例なども聞けて勉強になった。</li><li>・補助金の申請締め切りは早いので、いつでも出せるように利活用のイメージパスやある程度正確な改修費用、イベントの内容も日頃から準備しておくことが大切。金融機関への説明にも使えるなど今後の活動に活かしていきたい。</li></ul>
4. 今後の課題と展望
<ul style="list-style-type: none"><li>・モデルとなる事例を知ることで共通認識を育てる</li><li>・資金調達も含めた事例を聞くことで、実施の実感(リアリティ)をうむ</li><li>・今後、継続して実施するキックオフのきっかけとなる</li><li>・地域住民と一緒に文化財建造物を活用した地方創生・地域の活性化に取り組んでいきたいと考える。</li><li>・インターネットを活用して歴史的建造物の良さを周知する。</li></ul>